

製品名: 第 XII 因子ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86427

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:80 kDa

抗原情報

遺伝子名	Factor XII
別名	HAF; HAE3; HAEX
遺伝子 ID	2161
SwissProt ID	P00748
免疫原	ヒト因子 XII の組み換えタンパク質

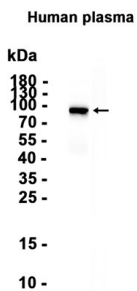
背景

この遺伝子は、血液中をチモーゲンとして循環する凝固因子 XII をコードしています。この一本鎖チモーゲンは、重鎖（ α -因子 XIIa）

と軽鎖を持つ二本鎖セリンプロテアーゼに変換されます。重鎖には、2つのフィブロネクチン型ドメイン、2つの上皮成長因子 (EGF) 様ドメイン、クリンゲルドメイン、およびプロリンリッチドメインが含まれますが、軽鎖には触媒ドメインのみが含まれます。活性化されると、重鎖でさらなる切断が起こり、 β -因子 XIIa 軽鎖が生成され、 α -因子 XIIa 軽鎖は β -因子 XIIa 重鎖になります。プレカリクレインは因子 XII によって切断されてカリクレインを形成し、カリクレインによって因子 XII はまず α -因子 XIIa に、次に β -因子 XIIa に切断されます。活性型第 XIIa 因子は、血液凝固、線溶、そしてブラジキニンとアンジオテンシンの生成に関与する。また、血液凝固第 VII 因子と第 XI 因子を活性化する。この遺伝子の欠陥は臨床症状を引き起こさず、全血凝固時間の延長のみを引き起こす。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



1:1000 の濃度で第 XII 因子ウサギモノクローナル抗体を使用して、ヒト血漿組織抽出物のウェスタン ブロット分析を行いました。